

第4部

県民意識調査  
結果の概要

令和5年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

令和5年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

1 調査の目的

「いわて県民計画（2019～2028）」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか、また、どの程度幸福度を感じているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- (5) 調査時期 令和5年1～3月（毎年調査）
- (6) 調査項目
  - ア 生活全般の満足度
  - イ 「いわて県民計画（2019～2028）」の10の政策分野に関連する57項目に係る重要度、満足度について
  - ウ 幸福度
  - エ 家事時間及び生活時間
  - オ 県民の普段の行動
- (7) 回収者数 2,942人
- (8) 有効回収率 58.8%
- (9) 回答者の属性

【性別】	回答者数	割合
男性	1,266	(43.0)
女性	1,640	(55.7)
その他	8	(0.3)
不明	28	(1.0)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	36	(1.2)
20～29歳	129	(4.4)
30～39歳	249	(8.5)
40～49歳	414	(14.1)
50～59歳	507	(17.2)
60～69歳	605	(20.6)
70歳以上	985	(33.5)
不明	17	(0.6)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	872	(29.6)
県南広域振興圏	869	(29.5)
沿岸広域振興圏	711	(24.2)
県北広域振興圏	490	(16.7)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	212	(7.2)
家族従業者	90	(3.1)
会社役員・団体役員	185	(6.3)
常用雇用者	835	(28.4)
臨時雇用者	347	(11.8)
学生	51	(1.7)
専業主婦（主夫）	324	(11.0)
無職	623	(21.2)
その他	80	(2.7)
不明	195	(6.6)

【子どもの数別】	回答者数	割合
1人	375	(12.7)
2人	1,023	(34.8)
3人	514	(17.5)
4人	110	(3.7)
5人以上	19	(0.6)
子どもはいない	618	(21.0)
不明	283	(9.6)

【居住年数別】	回答者数	割合
10年未満	99	(3.4)
10～20年未満	113	(3.8)
20年以上	2,544	(86.5)
不明	186	(6.3)

( ) 内は%

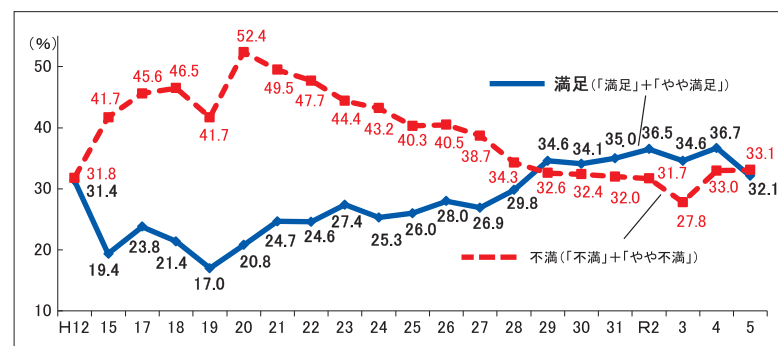
3 調査結果の概要

(1) あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

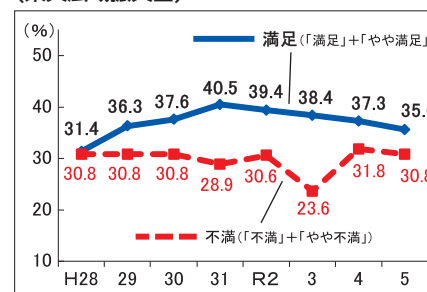
前回と比べて満足の割合が4.6ポイント減少

- 県計では、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が32.1%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の割合は33.1%となっている。
- また、令和4年調査と比較すると、満足の割合は36.7%から4.6ポイント減少し、不満の割合は33.0%から0.1ポイント増加している。
- 広域振興圏別にみると、満足の割合は、全ての広域振興圏で減少している。不満の割合は、県央及び県南では減少し、沿岸及び県北では増加している。

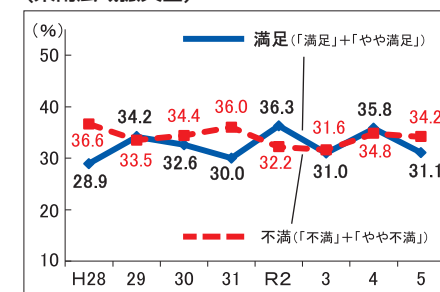
(県計)



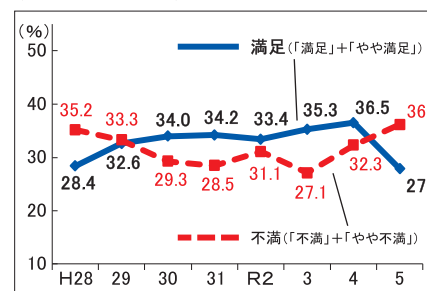
(県央広域振興圏)



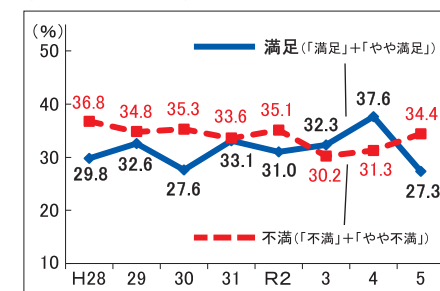
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



## 令和5年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

(2) あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

### 【重要度】

- 重要度の高い項目は、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「感染症に対する備えが整っている社会」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」、「外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組」などの項目が重要度が低くなっている。

#### 重要度が高い項目

順位	(参考) R4年順位	10の政策分野	番号	項目
1	1	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
2	2	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
3	3	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
4	4	①	3	適切な医療体制
5	5	⑨	53	災害に強く安心して暮らせる県土

※ 項目は設問文を要約して記載。

#### 重要度が低い項目

順位	(参考) R4年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	55	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
55	56	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
54	54	①	1	身体の健康に関する相談・指導
53	53	④	27	外国人も暮らしやすい社会

### 【満足度】

- 満足度の高い項目は、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」となっている。
- 一方、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」、「安定した就職環境」などの項目が満足度が低くなっている。

#### 満足度が高い項目

順位	(参考) R4年順位	10の政策分野	番号	項目
1	1	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
2	3	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
3	2	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
4	6	⑨	54	交通や物流の拠点に通じる道路整備
5	4	①	3	適切な医療体制

#### 満足度が低い項目

順位	(参考) R4年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	⑥	36	商店街のにぎわい
56	56	⑥	42	農林水産業の担い手確保
55	55	⑥	35	安定した就職環境
54	54	④	24	公共交通機関の維持・確保
53	52	④	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境

### 【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目がニーズ度が低くなっている。

#### ニーズ度が高い項目

順位	(参考) R4年順位	10の政策分野	番号	項目
1	1	⑥	35	安定した就職環境
2	3	⑥	36	商店街のにぎわい
3	2	⑥	42	農林水産業の担い手確保
4	5	④	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境
5	6	④	24	公共交通機関の維持・確保

#### ニーズ度が低い項目

順位	(参考) R4年順位	10の政策分野	番号	項目
57	56	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	57	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
55	55	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	54	①	1	身体の健康に関する相談・指導
53	53	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組

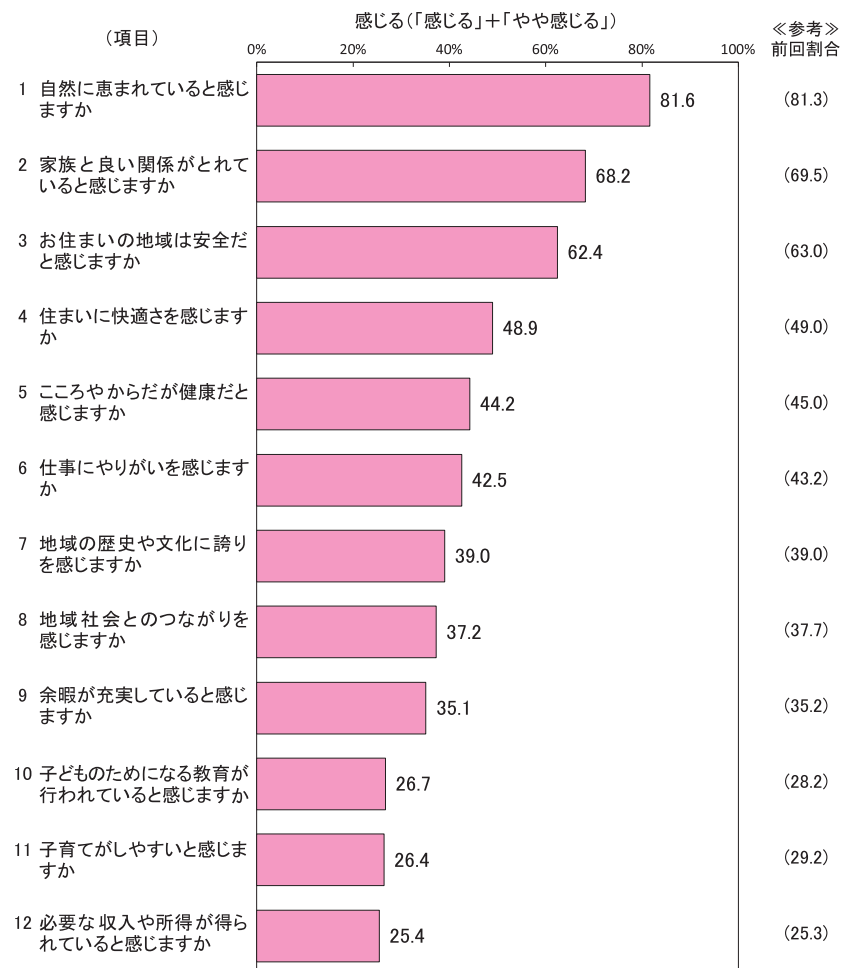
#### 10の政策分野

- ①「健康・余暇」、②「家族・子育て」、③「教育」、④「居住環境・コミュニティ」、⑤「安全」、⑥「仕事・収入」、⑦「歴史・文化」、⑧「自然環境」、⑨「社会基盤」、⑩「参画」

(3) 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等について伺います。

### (3) - 1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

○「感じる」（「感じる」＋「やや感じる」）の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の81.6%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の68.2%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の62.4%となっている。



## 令和5年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

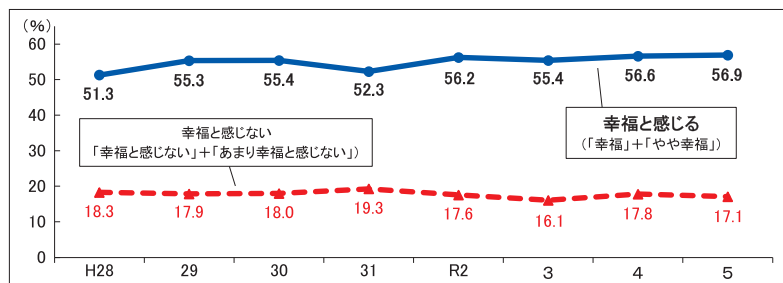
### (3)－2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

幸福と感じる割合が5割後半半、全ての広域振興圏で50%以上

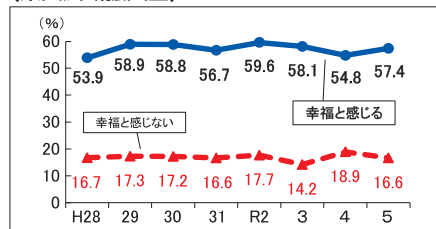
○県計では、幸福の割合は56.9%となっており、前回と比較すると0.3ポイント増加している。

○広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は県央及び県南で増加し、沿岸及び県北で減少している。幸福と感じない割合は、沿岸及び県北で増加し、県央で減少している。

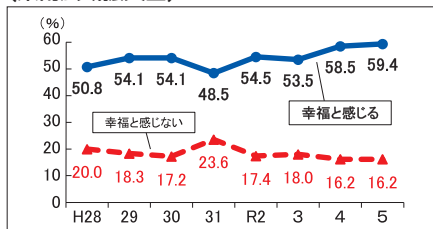
(県計)



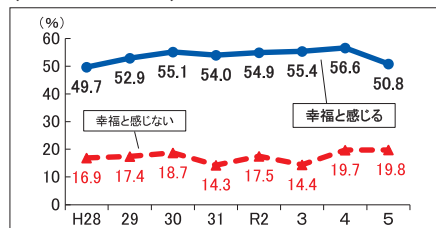
(県央広域振興圏)



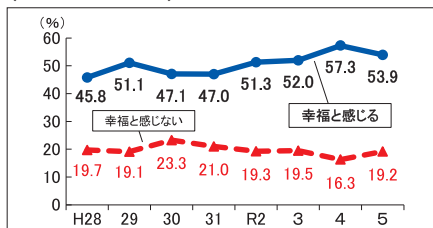
(県南広域振興圏)



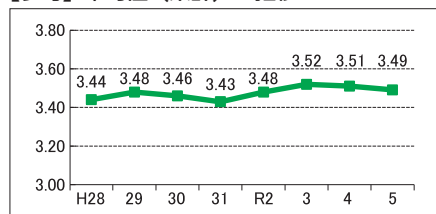
(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



【参考】 平均値（県計）の推移



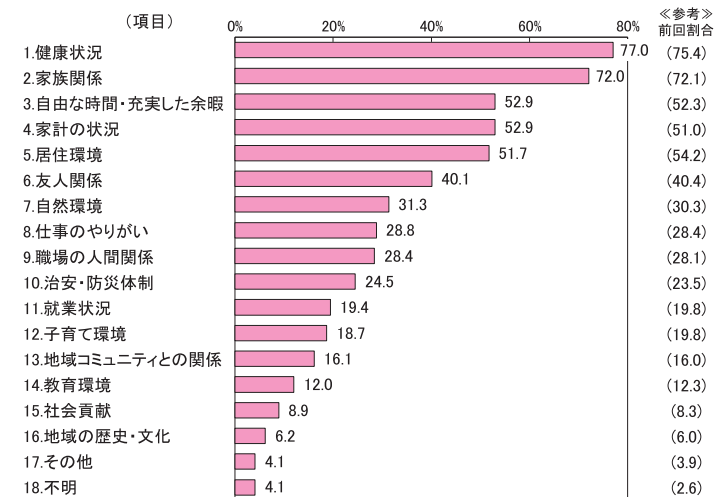
#### ・平均値について

若手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」で活用している主観的幸福感の平均値のこと。

「幸福だと感じる」から「幸福だと感じない」までの5段階の選択肢に応じて5点から1点を配点すると、県全体の平均値は5点満点中3.49点となっている。

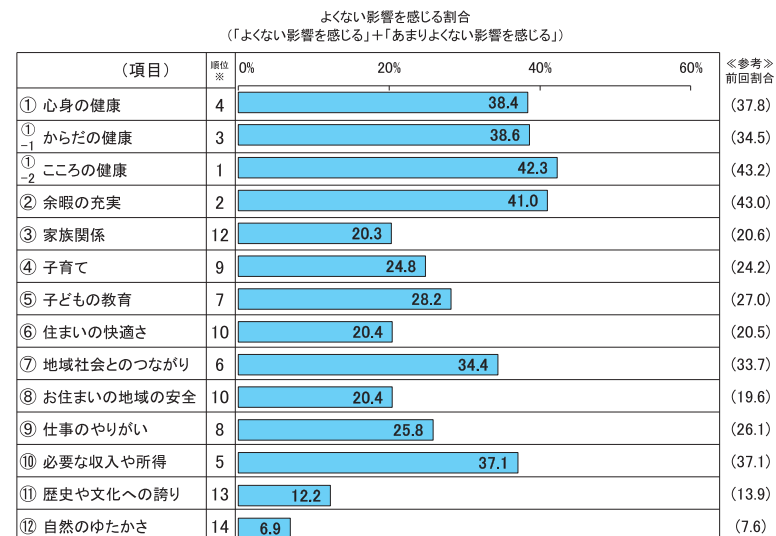
### (3)－3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の77.0%、「家族関係」の72.0%となっている。



### (4) あなたは新型コロナウイルス感染症の影響についてどのように感じていますか。

○分野別実感について、よくない影響を感じる（「よくない影響を感じる」＋「あまりよくない影響を感じる」）割合が高いのは、「こころの健康への影響」の42.3%、「余暇の充実への影響」の41.0%、「からだの健康への影響」の38.6%となっている。



※順位は、よくない影響を感じる割合の高い順である。

令和5年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

【参考1】(2)の各調査項目一覧（重要度、満足度、ニーズ度得点）

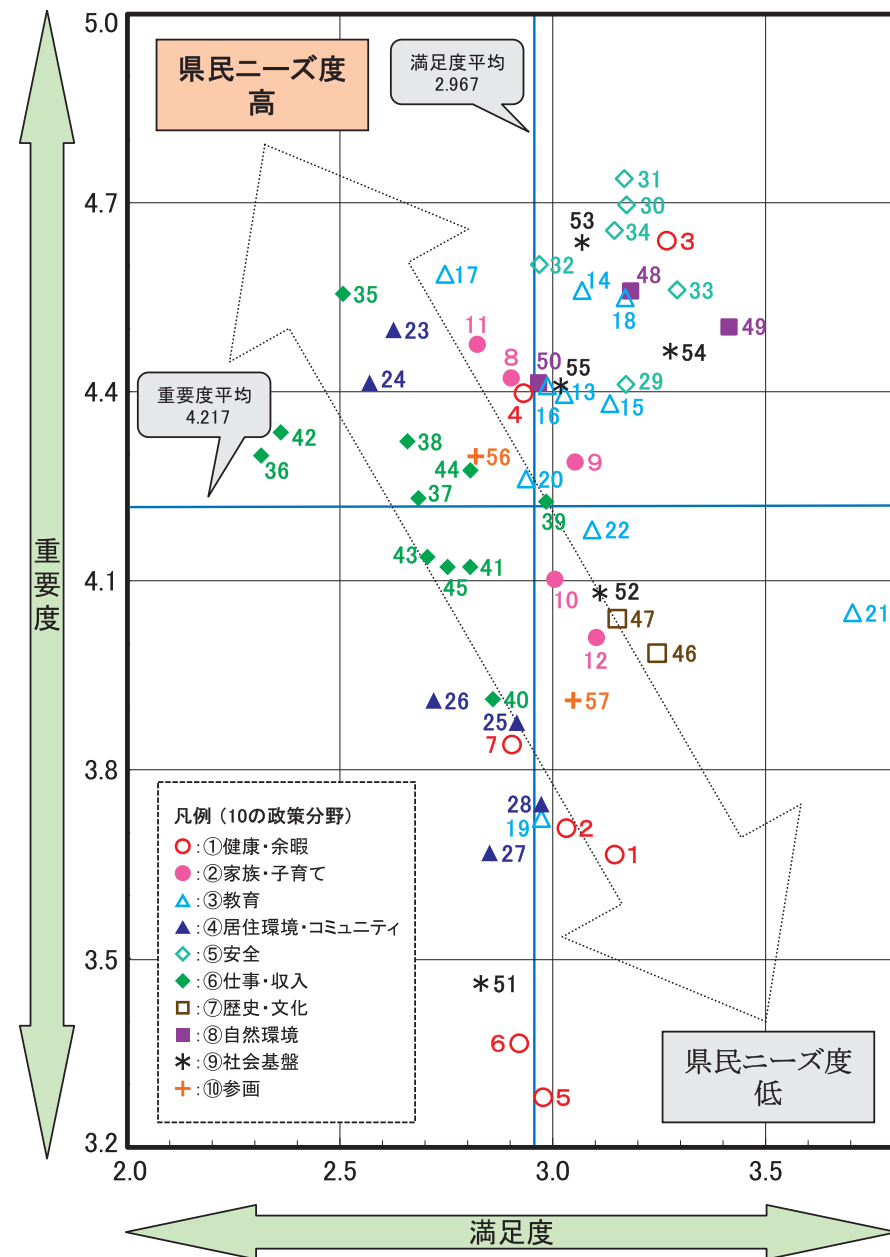
10の政策分野	No.	項目	重要度	順位	満足度	順位	ニーズ度	順位
①健康・余暇	1	身体の健康に関する相談・指導	3.665	54	3.148	13	0.517	54
	2	心の健康に関する相談・支援	3.708	52	3.035	23	0.673	52
	3	適切な医療体制	4.640	4	3.271	5	1.369	27
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	4.397	24	2.933	35	1.464	19
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	3.280	57	2.981	29	0.299	57
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	3.365	56	2.925	36	0.440	55
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境	3.840	49	2.903	38	0.937	44
②家族・子育て	8	安心な子育て環境整備	4.421	17	2.903	39	1.518	14
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	4.290	30	3.055	21	1.235	35
	10	地域全体での青少年の健全育成	4.102	39	3.005	26	1.097	38
	11	仕事と生活を両立できる環境	4.477	15	2.823	43	1.654	8
③教育	12	ペットなど動物のいのちを大切に作る社会	4.009	43	3.103	17	0.906	45
	13	子どもの学力向上に向けた教育	4.399	23	3.027	24	1.372	26
	14	人間性豊かな子どもの育成	4.561	10	3.071	19	1.490	16
	15	子どもの体力向上や心身の健康保持	4.383	25	3.137	15	1.245	32
	16	全ての子どもが学べる環境	4.413	20	2.987	27	1.425	22
	17	いじめや不登校への適切な対処	4.587	7	2.746	48	1.842	6
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	4.549	12	3.171	10	1.378	25
	19	特色ある私学教育の充実	3.723	51	2.975	30	0.748	50
	20	次世代を担う人材育成	4.261	32	2.939	34	1.322	29
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	4.050	41	3.705	1	0.344	56
④居住環境・コミュニティ	22	大学の地域社会貢献	4.182	35	3.094	18	1.088	39
	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	4.501	14	2.624	53	1.877	4
	24	公共交通機関の維持・確保	4.416	18	2.572	54	1.843	5
	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	3.875	48	2.918	37	0.957	43
	26	移住・定住を増やすための取組	3.910	46	2.723	49	1.186	37
	27	外国人も暮らしやすい社会	3.668	53	2.855	41	0.813	48
	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.745	50	2.972	31	0.772	49
	29	地域の協力による防災体制づくり	4.411	21	3.172	9	1.239	34
⑤安全	30	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.696	2	3.175	8	1.521	13
	31	交通事故の少ない社会づくり	4.738	1	3.170	11	1.568	11
	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.601	6	2.969	32	1.633	9
	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境	4.562	8	3.295	3	1.267	31
	34	感染症に対する備えが整っている社会	4.657	3	3.145	14	1.511	15
	35	安定した就職環境	4.556	11	2.506	55	2.050	1
⑥仕事・収入	36	商店街のにぎわい	4.298	28	2.318	57	1.980	2
	37	中小企業の成長・発展	4.230	33	2.687	51	1.544	12
	38	県内経済の活性化	4.322	27	2.658	52	1.664	7
	39	地域資源を活用した製品開発・販売	4.226	34	2.984	28	1.243	33
	40	海外での県産品の販路拡大	3.913	45	2.859	40	1.053	41
	41	魅力ある観光地づくり	4.121	37	2.806	46	1.316	30
	42	農林水産業の担い手確保	4.336	26	2.362	56	1.973	3
	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.140	36	2.705	50	1.435	21
	44	農林水産物の販路拡大	4.274	31	2.808	45	1.466	18
	45	活力ある農山漁村の形成	4.120	38	2.752	47	1.368	28
⑦歴史・文化	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組	3.985	44	3.247	6	0.738	51
	47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境	4.040	42	3.154	12	0.886	46
	48	自然環境を大切に生活	4.562	9	3.183	7	1.379	24
⑧自然環境	49	ごみ減量やリサイクルの定着	4.502	13	3.415	2	1.088	40
	50	温暖化防止の取組	4.414	19	2.967	33	1.447	20
	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組	3.459	55	2.830	42	0.628	53
⑨社会基盤	52	情報通信技術の活用	4.080	40	3.113	16	0.967	42
	53	災害に強く安心して暮らせる県土	4.639	5	3.068	20	1.571	10
	54	交通や物流の視点に通じる道路整備	4.465	16	3.277	4	1.188	36
	55	社会資本の維持管理	4.409	22	3.021	25	1.388	23
⑩参画	56	個性と能力を発揮できる社会の実現	4.297	29	2.820	44	1.477	17
	57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会	3.909	47	3.048	22	0.861	47
		平均	4.217		2.967		1.250	

注) 重要度（平均）、満足度（平均）は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

【用語の説明】

重要度（平均）：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。  
 満足度（平均）：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。  
 ニーズ度：重要度（平均）－満足度（平均）  
 （重要度が高く、住民の満足度が低い状態を（行政）ニーズが高いと読む）

【参考2】(2)の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ー は各項目の平均値（重要度：4.217、満足度：2.967）

※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。